

基準6 準学士課程の学生の受入れ

観点6-1-① 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な入学者選抜方法が採用されており、実際の学生の受入れが適切に実施されているか。

第1学年入学者の選抜方法は、推薦選抜・学力選抜・帰国子女特別選抜の三通りである。（資料6-1-①-1～2）

学科入学者に対するアドミッション・ポリシーは募集要項および本校 Web サイトに公表している。（資料6-1-①-3～4）

推薦による場合は、中学校長から推薦された者の中から、学業成績・適正などを総合的に判断して、本校教育に相応しい入学者を選抜することを旨とし、その人数は各学科とも入学定員の50%程度としている。選抜は調査書とグループワークを総合して行なっている。（資料6-1-①-5～6）

学力検査による場合は、本校での修学に必要な総合的な学力を有し、そのうち特に数学および英語が得意である人を選抜することとしている。この方針に基づき、調査書と5教科の学力検査を総合して選抜し、英語と数学の学力検査には1.5倍の係数をかけている。（資料6-1-①-7）

帰国子女特別選抜の対象者は、海外在住期間が中学校に相当する課程において通算して2年以上の者である。選抜は、理科・英語・数学の学力検査、作文、面接、調査書を総合して行う。（資料6-1-①-8～9）

第4学年編入学については、工業高校の生徒を対象として実施している。出身の高等学校長の推薦を受け、本校での修学に必要な総合的な学力を有し、そのうち特に数学、英語、当該学科の専門科目が得意であり、さまざまな実験や実習に周囲と協働して主体的に取り組む意欲のある人を選抜している（資料6-1-①-10～15）。

観点6-1-② 学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生を実際に受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。

教務委員会・志願者確保委員会が入学後における学力動向やアドミッション・ポリシーに沿った学生が入学しているかを継続的に調査分析し、教員に報告・周知している。（資料6-1-②-1～3）

課題が発見された場合は、分析結果を入試選抜方法の改善に役立てている。近年に実施した変更の事例として、平成31年度入試から推薦選抜における面接をグループワークに変更したことが挙げられる。選抜の方法や配点等については、入試説明会等で中学校教諭・学習塾講師・志願者および保護者に周知している。（資料6-1-②-4～6）

また、工業高校からの第4学年編入については、令和7年度から年度ごと学科ごとに募集を行うかどうかを選択できる方式とすることを公表している。（資料6-1-②-7）

観点6-1-③ 入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況になっていないか。また、その場合には、入学者選抜方法を改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。

本校における平成29～令和3年度の5年間の入学定員に対する実入学者数の比率は、機械工学科で1.050倍、電気情報工学科で1.055倍、都市システム工学科で1.055倍、建築学科で1.050倍であり、入学者数が入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況にはなっていない。（資料6-1-③-1）

【優れた点及び改善を要する点】

(優れた点)

準学士課程入学生、4年次編入学生のアドミッション・ポリシーをそれぞれ定め、募集要項やホームページ等に掲載し公表している。

入学後において、学力動向やアドミッションポリシーに沿った学生が入学しているかどうかを継続的に調査分析し、入試選抜方法の改善に役立てている。

中学校教員との懇談会・オープンキャンパス・学校説明会・中学生対象公開講座・学習塾対象説明会など広範な広報活動を行うことにより、高い資質を持った入学者を確保している。

入学志願者確保委員会を設置し、高い資質の入学志願者確保の方法を検討し、実施している。

(改善を要する点)

学科入試において、平成17年度入試から中学校の調査書評定値が10段階相対評価から5段階絶対評価に変更され、調査書評定値では学力の見極めが困難になってきている。さらに、県外からの受験者が増加してきており、特に推薦選抜で調査書評定値を重視した選抜を実施することに対して、公平性の観点での懸念が大きくなってきている。

エンジニアの分野でも女性の進出が進む中、女子学生数はほとんど増えていない。女子中学生向けの広報を充実させる必要があるが、一方で、学寮の女子定員に十分なゆとりがない。

学生の多様性の観点から、4年次編入生の受け入れを推進したいところであるが、4年次学生数が学級定員よりも多く、教室に受け入れるだけのゆとりある面積がないこと、また、過去の編入生で学業成績が芳しくない者もいることから、積極的には受け入れ難い状況である。施設・設備面で十分な受け入れ態勢を整えるとともに、十分な学力がある編入生を選抜できる方法を考えていく必要がある。

資料6-1-①-1

「選抜の種類」

令和4年度

学生募集要項

(出願書類添付)

(選抜日程表)

選抜方法	願書受付期間	試験日	合格発表日	入学確約書提出期限
推薦選抜	1月6日(木) ? 1月13日(木)	1月22日(土)	1月26日(水)	2月4日(金)
学力選抜	1月26日(水) ? 1月28日(金)	2月13日(日)	3月3日(木)	3月11日(金)
帰国子女特別選抜	1月26日(水) ? 1月28日(金)	2月13日(日)	3月3日(木)	3月11日(金)

- ※ 学力選抜及び帰国子女特別選抜の願書は、推薦選抜の願書受付期間においても受付可能です。
 ※ 学力選抜及び帰国子女特別選抜については、必要に応じて、本校の定める要件を満たす入学志願者を対象とした追試験を2月27日(日)に実施します。

独立行政法人国立高等専門学校機構

明石工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Akashi College

〒674-8501 明石市魚住町西岡679-3

電話 (078) 946-6149

FAX (078) 946-6053

メールアドレス nyushi.jim@akashi.ac.jp

ホームページ <https://www.akashi.ac.jp>

出典「令和4年度学生募集要項(表紙)」

資料6-1-①-2

「選抜の結果（令和3年度）」

入試データ				
令和3年度入試状況				
■ 推薦・学力選抜				
学科名	募集人員	志願者 (内推薦)	合格者 (内推薦)	倍率 (志願者/募集人員)
機械工学科	40	61 (50)	42 (22)	1.5
電気情報工学科	40	85 (68)	41 (21)	2.1
都市システム工学科	40	44 (36)	42 (21)	1.1
建築学科	40	68 (54)	41 (21)	1.7
合計	160	258 (208)	166 (85)	1.6

※合格者には、第二志望及び第三志望の者を含む。
 ※上記の表にはタイ政府奨学金留学生受け入れ事業により入学した2名の留学生（電気情報工学科1名、建築学科1名）は含まれていません。

■ 帰国子女特別選抜	
志願者	合格者
2	0

出典「本校 Web サイト_入試情報>学科入試（中学生向け）>入試データ」

資料6-1-①-3

「アドミッション・ポリシー」

I アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

自由な校風のなかで夢を育み、将来を自ら切り拓いていこうとする意志を持った次のような学生の入学を期待しています。

1. 技術者として活躍したいと強く希望を持っている人
2. 総合的な基礎学力を持ち、理数系科目および英語が得意な人
3. さまざまな実験や実習に周囲と協働して取り組める人

選抜方針は以下のとおりです。

・推薦選抜

中学校等を卒業見込みの者で、学業・人物とも優秀であることにより在籍する中学校等の長の推薦を受け、本校での修学に必要な総合的な学力を有し、そのうち特に理数系科目および英語が得意であり、さまざまな実験や実習に周囲と協働して主体的に取り組む意欲のある人を選抜します。

・学力選抜

中学校等を卒業（見込み含む）した者で、本校での修学に必要な総合的な学力を有し、そのうち特に数学および英語が得意である人を選抜します。

・帰国子女特別選抜

中学校等を卒業（見込み含む）した者で、一定の海外経験をもち、本校での修学に必要な総合的な学力および基礎的な日本語能力を有し、そのうち特に理数系科目および英語が得意である人を選抜します。

※カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）、ディプロマ・ポリシー（卒業認定方針）はホームページに掲載していますので参照してください。

出典「令和4年度学生募集要項 p.1」

資料6-1-①-4

「アドミッション・ポリシー」

アドミッション・ポリシー（入学生）

ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき、どのように入学者を受け入れるかを定める方針です。

自由な校風のなかで夢を育み、将来を自ら切り拓いていこうとする意志を持った次のような学生の入学を期待しています。

1. 技術者として活躍したいと強く希望を持っている人
2. 総合的な基礎学力を持ち、理数系科目および英語が得意な人
3. さまざまな実験や実習に周囲と協働して取り組める人

選抜方針は以下のとおりです。

・推薦選抜

中学校等を卒業見込みの者で、学業・人物とも優秀であることにより在籍する中学校等の長の推薦を受け、本校での修学に必要な総合的な学力を有し、そのうち特に理数系科目および英語が得意であり、さまざまな実験や実習に周囲と協働して主体的に取り組む意欲のある人を選抜します。

・学力選抜

中学校等を卒業（見込み含む）した者で、本校での修学に必要な総合的な学力を有し、そのうち特に数学および英語が得意である人を選抜します。

・帰国子女特別選抜

中学校等を卒業（見込み含む）した者で、一定の海外経験をもち、本校での修学に必要な総合的な学力および基礎的な日本語能力を有し、そのうち特に理数系科目および英語が得意である人を選抜します。

出典「本校 Web サイト_学校案内>三つのポリシー」

資料6-1-①-5

「推薦選抜 出願資格」

推 薦 選 抜	
1 出願資格及び推薦基準	
推薦選抜に志願できる者は、令和4年3月に中学校又は義務教育学校（学校教育法施行規則第95条第2号に規定する文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む）卒業見込みの者（中等教育学校の前期課程を修了見込みの者を含む）で、次の要件を満たし中学校等の長の推薦を得た者とします。	
(1) 学業・人物ともに優秀である者	
(2) 当該学科への志望理由が明白・適切で、志望学科に対し適性・関心を有する者	

出典「令和4年度学生募集要項 p.2」

資料6-1-①-6

「推薦選抜 選抜方法」

5 選抜方法			
調査書及びグループワークを総合して行います。（配点は調査書982点、グループワーク18点）			
グループワーク			
日 時	令和4年1月22日（土）		
	受験番号が 奇数の者	集 合	9：00
		グループワーク	9：15～
	受験番号が 偶数の者	集 合	10：30
グループワーク		10：45～	
受験地	明石工業高等専門学校		

出典「令和4年度学生募集要項 p.3」

資料6-1-①-7

「学力選抜 選抜方法」

5 選抜方法						
学力検査及び調査書を総合して行います。（配点は学力検査600点、調査書270点）						
学力検査						
(1) 検査科目						
理科、英語、数学、国語、社会の5教科（解答方式はマークシート方式）						
なお、学力検査の各教科の配点は次の通りです。						
科 目	理 科	英 語	数 学	国 語	社 会	合 計
配 点	100点	100点×1.5	100点×1.5	100点	100点	600点満点

出典「令和4年度学生募集要項 p.6」

資料6-1-①-8

「帰国子女特別選抜 出願資格」

帰国子女特別選抜

1 出願資格

日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等に伴って外国において教育を受けた者(海外在住期間が中学校に相当する課程において通算して2年以上の者で、令和2年4月以降の帰国者)で、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 中学校または義務教育学校を卒業した者(令和4年3月卒業見込みの者を含む)
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者(令和4年3月修了見込みの者を含む)
- (3) 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程(学校教育法施行規則第95条第2号)を修了した者(令和4年3月修了見込みの者を含む)
- (4) 外国において、学校教育における9年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む)を修了した者(令和4年3月修了見込みの者を含む)

入学志願者は、出願資格等を確認しますので、令和3年12月10日(金)までに必ず本校学生課教務学生チーム入試担当まで電話・電子メール・郵便等により照会してください。

出典「令和4年度学生募集要項 p.8」

資料6-1-①-9

「帰国子女特別選抜 選抜方法」

5 選抜方法

学力検査、作文、面接及び調査書等を総合して行います。

学力検査、作文及び面接

- (1) 検査科目
 - ①学力検査
理科、英語、数学の3教科(解答方式はマークシート方式)
 - なお、学力検査の配点は次のとおりです。

科 目	理 科	英 語	数 学	合 計
配 点	100 点	100 点	100 点	300 点満点

 - ②作文
当日与えられたテーマについて、日本語で自分の意見をまとめる。
 - ③面接
個人面接とし、一人につき10分程度、日本語で行います。

出典「令和4年度学生募集要項 p.9」

資料6-1-①-10

「アドミッション・ポリシー（編入学生）」

I アドミッション・ポリシー

自由な校風のなかで夢を育み、将来を自ら切り拓いていこうとする意志を持った次のような学生の入学を期待しています。

1. 数学および英語に関して工学教育を受けるための必要な学力を有する人
2. 専門的基礎学力に優れている人
3. さまざまな実験や実習に周囲と協働して取り組める人

選抜方針は以下のとおりです。

工業高等学校又は、高等学校の工業に関する学科を卒業（見込み含む）した者で、学業・人物とも優秀であることにより出身の高等学校長の推薦を受け、本校での修学に必要な総合的な学力を有し、そのうち特に数学、英語、当該学科の専門科目が得意であり、さまざまな実験や実習に周囲と協働して主体的に取り組む意欲のある人を選抜します。

※ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーはホームページに掲載していますので参照してください。

出典「令和4年度編入学生募集要項 p.1」

資料6-1-①-11

「アドミッション・ポリシー（編入学生）」

アドミッション・ポリシー（編入学生）

ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき、どのように入学者を受け入れるかを定める方針です。

自由な校風のなかで夢を育み、将来を自ら切り拓いていこうとする意志を持った次のような学生の入学を期待しています。

1. 数学および英語に関して工学教育を受けるための必要な学力を有する人
2. 専門的基礎学力に優れている人
3. さまざまな実験や実習に周囲と協働して取り組める人

選抜方針は以下のとおりです。

工業高等学校又は、高等学校の工業に関する学科を卒業（見込み含む）した者で、学業・人物とも優秀であることにより出身の高等学校長の推薦を受け、本校での修学に必要な総合的な学力を有し、そのうち特に数学、英語、当該学科の専門科目が得意であり、さまざまな実験や実習に周囲と協働して主体的に取り組む意欲のある人を選抜します。

出典「本校 web サイト_学校案内>三つのポリシー」

資料6-1-①-12

「編入学 出願資格」

1 出 願 資 格

TOEIC Listening & Readingテスト（IPテストを含む）を出願時2年以内に受験し、そのスコアを証明する書類を提出できる者であって、出身学校長が本校の教育に適すると認め推薦する者

- (1) 工業高等学校又は高等学校の工業に関する学科を卒業した者
- (2) 上記の学校を令和4年3月卒業見込みの者

出典「令和4年度編入学生募集要項 p.1」

資料6-1-①-13

「編入学 選抜方法」

4 選 抜 方 法	
入学者の選抜は、学力試験、英語（TOEICスコア）、調査書、面接の総合判定により行います。	
(1) 学力試験科目	数学、専門
(2) 試験範囲	別表のとおり

出典「令和4年度編入学生募集要項 p.2」

資料6-1-①-14

「編入学 出題範囲」

Ⅶ 令和4年度 編入学試験科目及び試験範囲

明石工業高等専門学校

学 科	学力試験 科 目 (配 点)	高 等 学 校 科 目	備 考
共通	数 学 (100 点)	数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学A 数学B	

※英語については、TOEIC L & Rテストのスコアを換算する。(100点)

学 科	学力試験 科 目 (配 点)	高等学校科目とその内容（学習指導要領による）		備 考
		科 目 (配 点)	内 容	
機械工学科	専 門 (200 点)	機 械 設 計 (80 点)	機械と設計、機械に働く力、材料の強さ、 機械要素と装置、機械と器具の設計	
		機 械 工 作 (80 点)	機械材料、各種の工作法	
		機 械 製 図 (40 点)	製図の基礎、製作図、機械要素の製図、簡 単な機械・器具の設計製図	
電気情報工学科	専 門 (200 点)	電 気 基 礎	(1)直流回路、正弦波交流(含ベクトル記号 法)、単相交流回路、三相交流回路 (2)静電気※、磁気※、電流と磁気※、 電磁誘導※	(1)～(3)のうち 2つを選択する こと。 (配点各100点) ※の項について は物理系の科目 により補足する こと。
		情 報 技 術 基 礎	(3)流れ図、基本的なアルゴリズム、C言語 によるプログラミング、論理代数、論理 回路、コンピュータの構成と動作	
		電 子 情 報 技 術 プ ロ グ ラ ム ミ ン グ 技 術 又 は ハ ー ド ウ ェ ア 技 術		

学 科	学力試験 科 目 (配 点)	高等学校科目とその内容（学習指導要領による）		備 考
		科 目 (配 点)	内 容	
都市システム工学科	専 門 (200 点)	土 木 基 礎 力 学	①土木構造力学	
		① 土 木 構 造 力 学 (100 点)	力のつりあい、断面の性質、 静定ばり（断面力、反力、応力度等）	
		② 水 理 学 (50 点)	②水理学 水の性質、静水圧、水の流れ、管路	
	測 量 (50 点)	距離測量、平板測量、水準測量、角測量、 トラバース測量		
建築学科	専 門 (180 点)	建 築 計 画 (90 点)	建築一般構造、建築史、建築材料（仕上材 料）、 建築計画（住宅、集合住宅、事務所等）、 建築設備（熱、光、音、換気、給排水衛生）	
		建 築 構 造 (90 点)	建築材料（構造材料） 建築構造（静定はり・静定ラーメン・静定 トラス、断面の性質、応力度）	
		建築設計製図における作品1点を試験当日持参すること。(20点) (詳細は別紙のとおり)		

出典「令和4年度編入学生募集要項 p.4,5」

資料6-1-①-15

「編入学 入試状況」

令和3年度編入学入試状況

学科名	募集人員	志願者	合格者
機械工学科	若干名	0	0
電気情報工学科		2	2
都市システム工学科		0	0
建築学科		0	0
合 計		2	2

令和2年度編入学入試状況

学科名	募集人員	志願者	合格者
機械工学科	若干名	0	0
電気情報工学科		3	2
都市システム工学科		1	0
建築学科		1	1
合 計		5	3

平成31年度編入学入試状況

学科名	募集人員	志願者	合格者
機械工学科	若干名	0	0
電気情報工学科		2	1
都市システム工学科		1	1
建築学科		3	0
合 計		6	2

平成30年度編入学入試状況

学科名	募集人員	志願者	合格者
機械工学科	若干名	0	0
電気情報工学科		1	0
都市システム工学科		1	0
建築学科		0	0
合 計		2	0

出典「本校 Web サイト_入試情報>編入学入試（高校生向け）>入試データ」

資料6-1-②-1

「教員会報告（推薦選抜の結果）」

続いて推薦選抜の結果について下記のとおり説明があった。
推薦選抜は、調査書5段階評定値（964満点）に特別活動及びグループワークの点数（各々

18点）を合計した点数で合否を判定するが、今回は新型コロナウイルス感染症の影響により、グループワークが実施されなかったため、特別活動の点数のみを加えた点数で合否を判定した。特別活動の点数については、今年度は多くの体育大会が開催されなかったため、生徒会長及び学級委員等の経験者が加算される傾向にあった。

各学科別の特徴として、昨年大きく調査書5段階評定値が高くなった建築学科は今年度も同じ傾向であった。都市システム工学科は、例年、合格最低点は900点未満であったが、今年は大きく合格最低点が上がった。

年度別の結果を比べると、電気情報工学科、都市システム工学科及び建築学科はここ数年合格点が高くなっている傾向がある。

学科別の受験者数と調査書5段階評定値の点数を比較すると、受験者数が多くなるほど、合格最低点は上がるという結果が出ている。引き続き、オープンキャンパス、公開講座の実施及び各学科で作成する入学志願者確保に関する動画の作成に尽力願いたいとのことであった。

出典「教員会議事録（令和3年2月10日）抜粋」

資料6-1-②-2

「教員会報告（学力選抜の結果）」

続いて、令和3年度学力選抜の結果の説明があった。

学力選抜の結果については、昨年に引き続き、機械工学科において、機械工学科を第2志望とする学生が7～8名入学しているため、これまでとクラスの雰囲気が異なっているかもしれない。

合格者調査書については、推薦選抜時同様、都市システム工学科及び建築学科において、合格した学生の学力が例年に比べ、高いことが伺える。入学志願者が増えると合格する学生の学力は高くなるという傾向があるので、各学科では、入学志願者向けの動画及びオープンキャンパスに尽力いただき、入学志願者数増に協力いただきたいとのことであった。

出典「教員会議事録（令和3年4月14日）抜粋」

資料6-1-②-3

「教員会報告（入学動機アンケート）」

入学動機アンケート結果から、学生が入学前に知りたかったこととして、留年・退学者数の状況の回答数が多かったことから、入学志願者がこの点について心配していることがうかがえる。また、本校志願を勧めた人として圧倒的に保護者が多いため、今後オープンキャンパスなどにおいて保護者等へのアプローチを検討すべきであるとのことであった。

出典「教員会議事録（令和3年5月12日）抜粋」

資料6-1-②-4

「入試懇談会（中学校教諭・学習塾講師向け説明会）スライド」

国立 明石工業高等専門学校
入試懇談会 2019

第1部：学校概要

- (1) 高専の特徴と魅力
- (2) 本校の概要と近況
- (3) モデル校事業とその成果

第2部：入試概況

- (1) 近年の入試状況
- (2) 選抜方法及び合否の目安
- (3) 出願時・合格後の注意

変更点 H17□H27

- 平成17年度 (10段階別評価から5段階別評価へ)
調査書の配点変更、推薦選抜における特別活動点の導入
- 平成22年度
推薦選抜と学力選抜の募集人員をそれぞれ入学定員の50%程度に
⇒ 各学科定員40名に対して
推薦選抜21名、学力選抜21□23名
- 平成27年度
兵庫県学区再編

変更点 H28□R2

- 平成28年度
学力検査がマークシート方式に
- 平成30年度
推薦選抜が土曜日に
- 平成31年度
 - 1. 募集人員：タイ政府奨学金留学生 若干名が含まれる (募集要項参照)
毎年1年生に2名を受け入れ
 - 2. 推薦選抜：面接 ⇒ グループワーク (配点は変更なし)
- 令和2年度
帰国子女特別選抜の設置 (各学科とも若干名)

おわりに

ご質問等は、
お近くのスタッフまで

- 高専制度
- 本校の特徴・特色
- 進路・学校生活
- 入試状況
- その他

お問い合わせ
学生課 入試担当

TEL: 078-946-6149
FAX: 078-946-6053
E-mail: nyushi.jim@akashi.ac.jp

出典「入試懇談会説明資料（令和元年9月25日）」

資料6-1-②-5

「入試説明会（中学生・保護者向け説明会）スライド」

入試説明会 2019 国立 明石工業高等専門学校

令和2年度入試の概要と出願方法

1. 令和2年1月18日(土)

- ① 推薦選抜 (志望学科：第1志望だけ)
 - 学科定員の50%程度
 - 調査書 + グループワーク

2. 令和2年2月16日(日)

- ② 学力選抜 (志望学科：第3志望まで)
 - 学科定員の50%程度 (留学生2名合格済)
 - 調査書 + 学力検査 (5教科)
- ③ 帰国子女特別選抜 (志望学科：第3志望まで)
 - 出願資格：中学3年間のうち2年以上を海外で生活した生徒
 - 各学科とも若干名 (定員外)
 - 調査書 + 学力検査 (3教科) + 作文 + 面接

出願方法は5通り

- ①だけ
- ②だけ
- ③だけ
- ① + ②
- ① + ③

グループワークの例：マシュマロタワー

1. 一人で考える 取扱注意
2. みんなで話し合う
3. 作業をする

- 作品の記録・出来映えは評価しない
- 協働できているかを評価
 - コミュニケーション力
 - チームワーク力
 - リーダーシップ

向いていると思うなら 明石高専へ

- 高専：長所と短所
- 明石：強みと弱み、教育的特色、校風

向いている人にとって
「明石は別格」「教育的に最も成功している高専」

明石高専で大きく成長する秘訣

- できるだけ早く自主的な予習・復習の学習習慣を確立させる
- 課外活動に積極的に参加する

出典「入試懇談会説明資料（令和元年11月9日）」

- 408 -

資料6-1-②-6

「説明会等広報行事一覧」

令和4年度 広報行事一覧		
(1) 中学校教諭・学習塾講師対象		
9/24(金)	13:30-15:30	入試懇談会 (1回目, 本校)
9/29(水)	13:30-15:30	入試懇談会 (2回目, 本校)
10/ 4(月)	13:30-15:30	入試懇談会 (3回目, 姫路)
10/ 5(火)	13:30-15:30	入試懇談会 (4回目, 三田)
(2) 中学生・保護者対象		
6/ 6(日)	11:00-16:00	国公立高専合同説明会 (東京)
7/10(土)	9:30-16:00	オープンキャンパス (1回目)
7/11(日)	11:00-17:00	国公立高専合同説明会 (大阪)
7/24(土)	19:30-20:30	学校説明会 (アイレ進学塾西宮校)
8/ 7(土)	9:30-16:00	オープンキャンパス (2回目)
8/ 8(日)	9:30-16:00	オープンキャンパス (3回目)
10/ 4(月)	18:00-20:00	入試説明会 (姫路)
10/ 5(火)	18:00-20:00	入試説明会 (三田)
10/16(土)	9:30-16:00	オープンキャンパス (4回目)
11/ 3(水)	9:30-16:00	入試説明会 (1回目)
11/20(土)	10:00-14:30	入試説明会 (2回目)
11/21(日)	10:00-14:30	入試説明会 (3回目)
12/ 3(土)	10:30-14:30	入試説明会 (4回目)
12/19(日)	10:30-13:10	女子フォーラム (オンライン)

出典「令和4年度行事予定表から作成」

資料6-1-②-7

「編入学試験の変更に関する周知」

重要なお知らせ

⋮ 令和7年度以降の編入学生の募集について

令和7年度以降の編入学生の募集(令和6年度以降実施の編入学試験)については、年度毎に一部または全部の学科について募集をしない場合があります。(令和3年11月掲載)

出典「本校 Web サイト_入試情報>編入学入試(高校生向け)>編入学案内」

資料6-1-③-1

「入学定員及び入学者数」

学科	入学定員	入学者数				
		平成 29	平成 30	平成 31	令和 2	令和 3
機械工学科	40	42(4)	42(2)	42(6)	42(2)	42(2)
電気情報工学科	40	43(5)	42(7)	43(6)	42(9)	41(7)
都市システム工 学科	40	42(6)	43(8)	42(4)	42(11)	42(8)
建築学科	40	42(13)	43(12)	42(19)	42(22)	41(19)
計	160	169(28)	170(29)	169(35)	168(44)	166(36)

()内は女子を内数で表す。

出典「学則及び入学者名簿から作成」